



国土交通省 北陸地方整備局

新潟国道事務所



くりのき ささごえばし 国道7号 栗ノ木バイパス笹越橋交差点付近 笹越橋 夜間通行止めのお知らせ

国道7号栗ノ木バイパスの立体道路整備に向けた栗ノ木川の付替工事に伴い、笹越橋の夜間通行止めを実施します。

皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

【規制日時】 10月25日(月)～11月30日(火) 夜22時～朝5時

※車両全面通行止め。(歩行者・自転車は通行可)

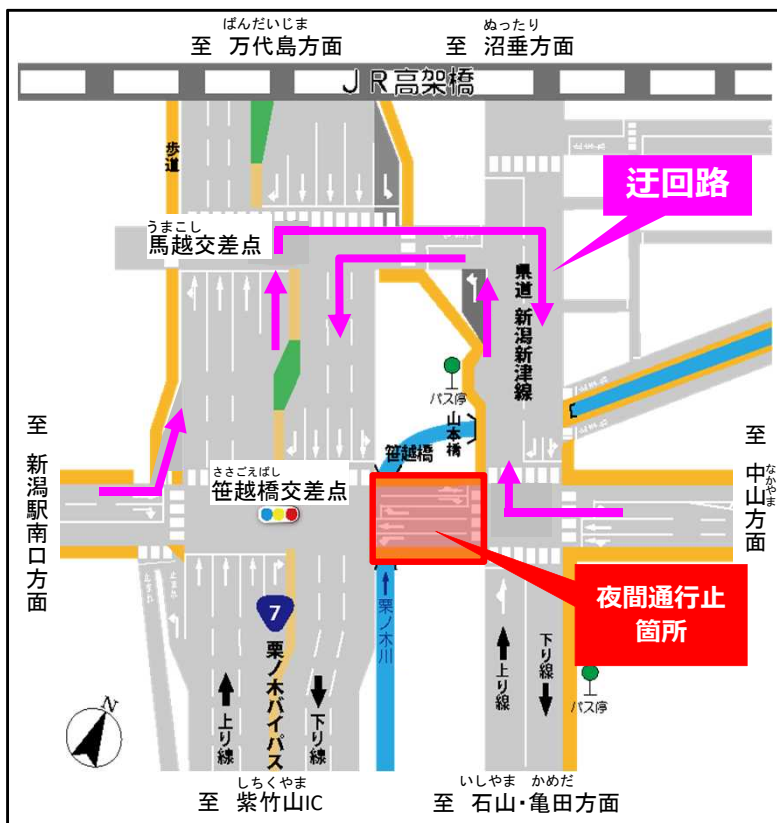
※車両は隣接する国道7号「馬越交差点」へ迂回をお願いします。

※昼間は通常通り通行できます。

※悪天候等により休工する場合があります。

※通行の際は現地の工事看板、交通誘導員の指示に従ってください。

【位置図】



国道7号 笹越橋交差点付近

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所

工務第一課長 大島 淑（おおしま はじめ）

みなみささぐち
新潟市中央区南笹口2-1-65
電話 025-244-2159(代表)

<https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/>
FAX 025-246-7759



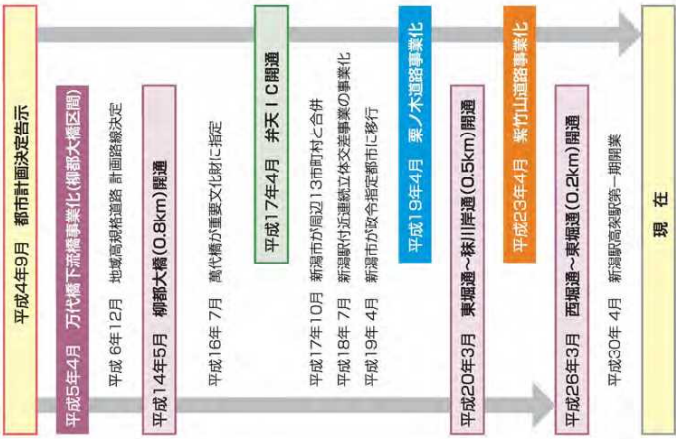
万代島ルートとは？

万代島ルートは、新潟県上越市から中央区寄居町に至る全長約5.6kmの道路です。平成4年に都市計画決定され、高尾道路や新潟バイパスといった東西方向を結ぶ道路と新潟市中心部を南北方向に結びます。柳都大橋を含む1.5km区間が先行して開通し、現在、国道7号栗ノ木バイパスで「栗ノ木道路」と「紫竹山道路」の整備を進めています。

■位置図



■万代島ルート計画における現在までの流れ



広小路(東堀通～西堀通)



柳都大橋



栗ノ木バイパス

■万代島ルート標準断面イメージ

【平面道路区間】例：西堀通～株川岸道路区間



【立体道路区間】例：恒盛橋交差点～紫竹山交差点



※立体道路：新潟バイパスのような道路のことを指します。

どうして道路整備が必要なの？

万代島ルートの計画区間のうち、国道7号 栗ノ木バイパス(栗ノ木橋交差点～紫竹山IC間)は、様々な交通の課題を抱えています。そこで、「通過する交通」を立体道路へ、「地域に密着する交通」を地表面道路に整理し、交通の流れがスムーズで安全・安心な道路を目指します。

渋滞の発生

交通量が非常に多いため、朝夕を中心に著しい渋滞が発生しています。

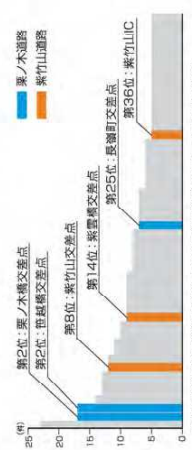


栗ノ木バイパスの渋滞状況

道路が整備されると...
立体道路はノンストップで
交通の流れがスムーズになります！

事故の発生

主要な交差点で、混雑による追突事故等が多く発生しています。



新潟県道事務所管内(交差点)の交通事故件数(フースト50の合計)
出典：ITARDAデータ (H25～H28)

混雑が緩和され、事故の少ない
安全な道路になります！

道路が整備されると...

大雨でも通行止めのリスクが少ない
安心な道路になります！

道路が整備されると...

冠水による
通行止め

JR交差部では、豪雨時に冠水による
通行止めが発生しています。



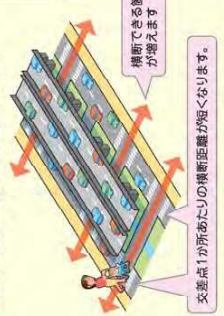
JR交差部冠水履歴	
発生日	規制内容
H10.8.4	通行止め
H11.8.12	通行止め
H19.8.28	通行止め
H23.7.28 (上り線のみ)	通行止め

JR交差部の冠水状況 (H10.8.4)

出典：新潟県道事務所調べ

■立体道路と地表面道路区分イメージ

道路が広がり横断歩道が
長くなると通りきれない
と思っていました。



横断できる箇所
が増えます

交差点1か所あたりの横断距離が短くなります。

浸水を受けようとして、生体道路を
通り抜けようとする車は、
また、歩行者と自転車のすれちがい
が安全になります。

住宅地への騒音や振動
の低減が期待されます。

本線
巨大車
歩行者道
地表面道路

紫竹山道路地元説明会
参加者様より (H23.6)

どんな道路になるの？

栗ノ木道路

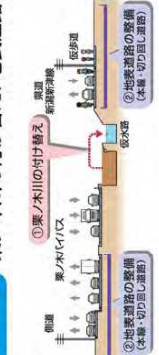
栗ノ木バイパスと栗ノ木川の周辺に立体道路、その両脇に地表道路を整備します。
栗ノ木バイパス周辺は非常に交通量が多いため、下図のようにできる限り車線数を確保し、道路の切り回りを行いながら工事を進めます。



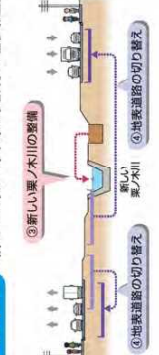
※イメージであるため、実際の形状と異なることがあります。

工事の進め方

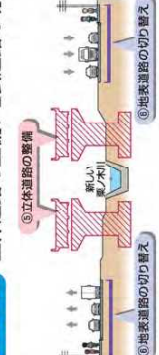
STEP 1 栗ノ木川の付け替え、地表道路の整備



STEP 2 新しい栗ノ木川の完成、地表道路の切り替え



STEP 3 立体道路の整備、地表道路の切り替え



STEP 4 完成 (通過交通は立体道路、生活交通は地表道路へ)



紫竹山道路

亀田バイパスから竹尾IC方面への右折ルート[※]を立体化します。
また、地表道路と竹尾IC方面を結ぶ(仮称)南紫竹IC(ハーフIC)を新設します。
段階的な改良工事として少しずつ各ランプ(接続路)等の形状を変更しながら整備します。



※イメージであるため、実際の形状と異なることがあります。

整備後



整備前



工事ステップのイメージ動画 QRを読み取ると、工事ステップの360°VRイメージ動画がご覧いただけます。



※データ容量が多いため、WiFi環境でのご利用を推奨いたします。